

加工食品の物価及び生産・販売動向

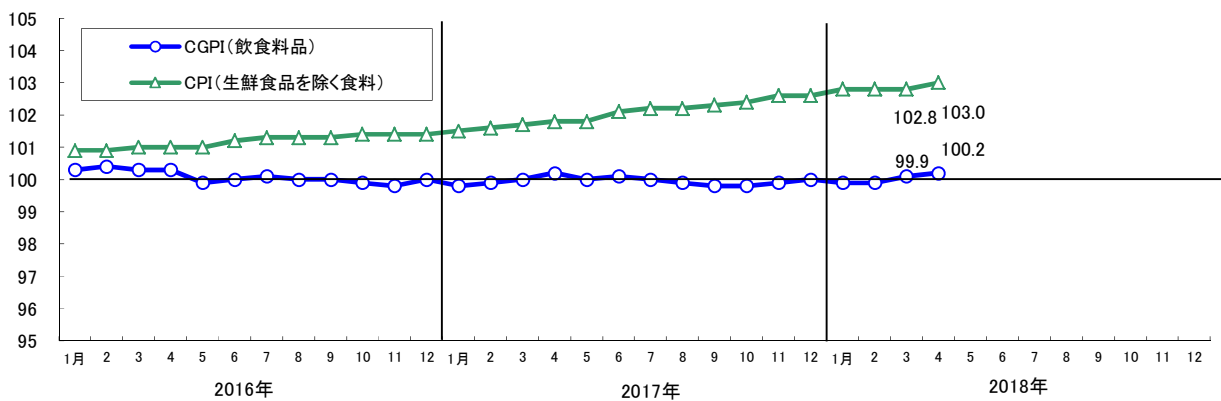
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は概ね横ばい傾向、消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同 103.0 で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2015年=100



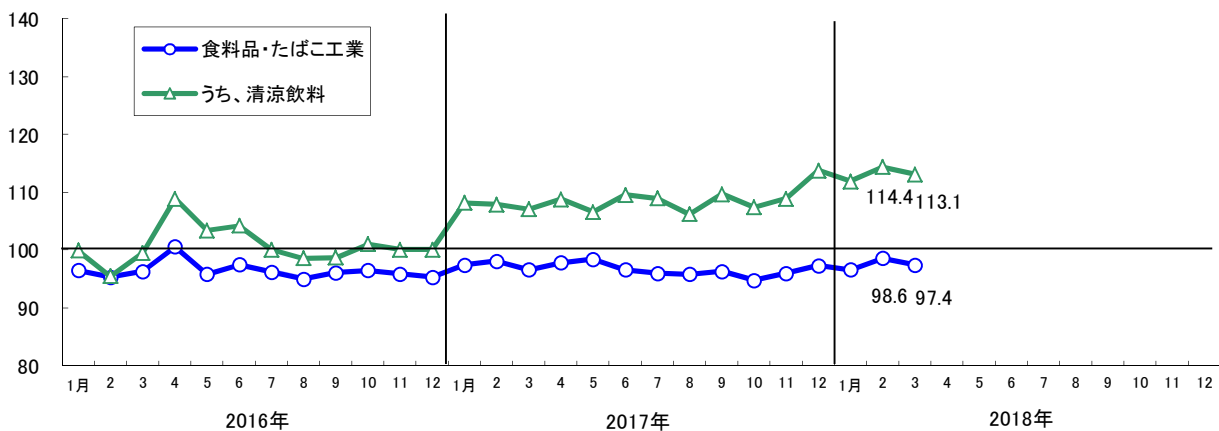
資料:日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比でわずかに低下、清涼飲料についてもわずかに低下

2018年3月の食料品・たばこ工業の生産指数は、97.4で前月比▲1.2%とわずかに低下した。うち、清涼飲料は113.1で前月比▲1.1%とわずかに低下した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



資料:経済産業省「鉱工業生産指数」

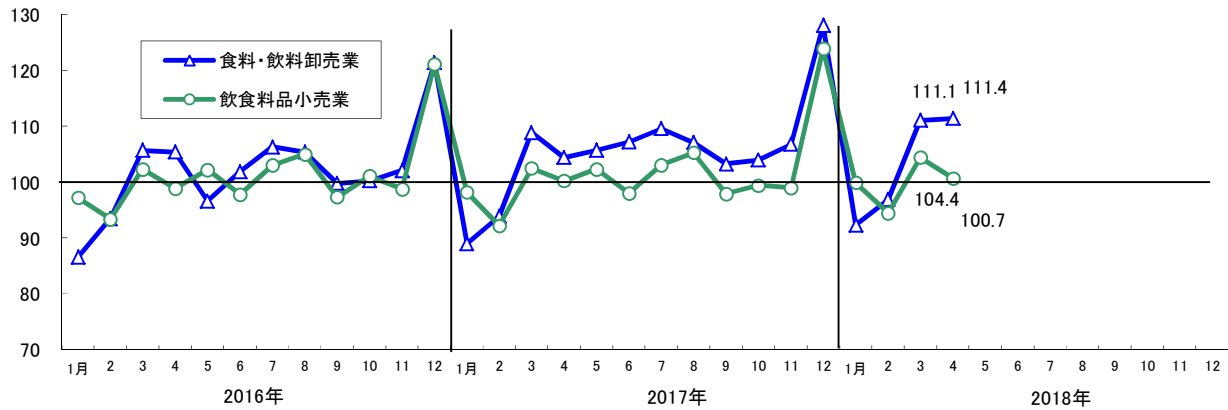
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でかなりの程度上昇、小売業販売額は同横ばい

2018年4月の食料・飲料卸売業の販売額指数は111.4で対前年同月比6.7%とかなりの程度上昇した。飲食料品小売業の販売額指数は100.7で同0.5%と横ばいであった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

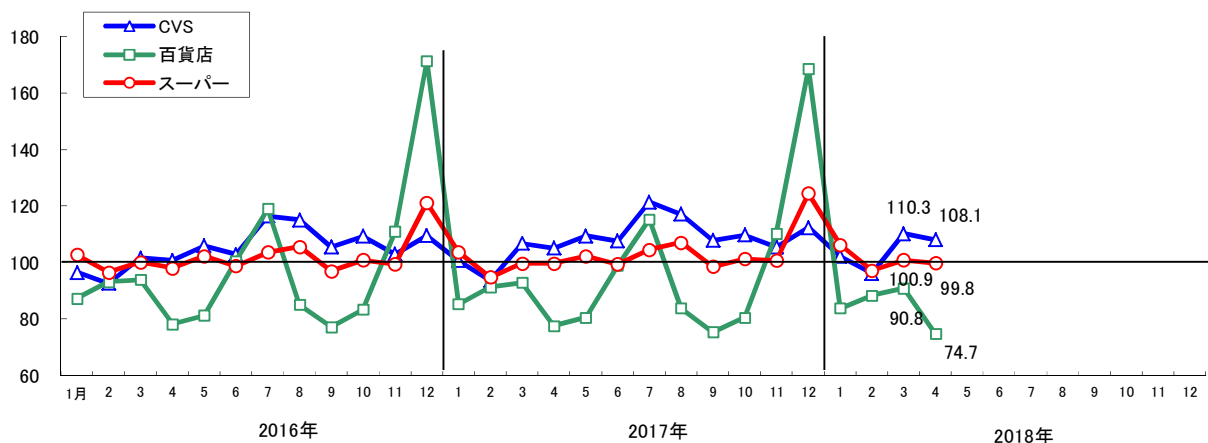
4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でわずかに上昇、スーパーは同横ばい、百貨店は同やや低下

2018年4月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは108.1で対前年同月比2.8%とわずかに上昇、スーパーは99.8で前年同月比0.1%と前年同月比で横ばい、百貨店は74.7で前年同月比▲3.7%とやや低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。